

てしお 議会だより

No.161
平成30年5月16日発行
北海道
天塩町議会

一般質問 6名議員が町政を問う

- 技能者に対する支援は・・・6
- スキー場どうする・・・7
- 地方創生を今後どう生かすのか・・・8
- 冬季の通行止め対策は・・・9
- ふるさと納税返礼品は大半が町外か ほか・・・10
- 健全な財政運営の取り組みは ほか・・・11

第1回定例会

- 楽酪事業・ふるさと基金などで補正・・・2
- 長瀬副町長退職の行政報告ほか・・・3
- 平成30年度各会計予算案を可決・・・4
- 表紙の写真/
住民参加企画「まちのこえ」ほか・・・12

天塩町議会 |

検索

「議会のうごき」をHPに掲載しています
<http://www.teshiotown.hokkaido.jp>

認定こども園おひさま お誕生日のお祝い

おたんじょうび
おめでとう

3月 第1回定例会

3月2日～16日

平成30年3月定例会は、3月2日に開会し、会期を16日までの15日間と決め、町長、教育長が執行方針を述べた後に議案審査のため休会。

14日に再開し、6議員が一般質問を行い、地方創生、産業、防災などについて活発な議論が交わされました。

また、29年度一般会計、特別会計の補正予算案や条例案などの議案を審議し、原案通り可決しました。

このほか、30年度各会計予算案9件、予算関連議案5件を予算等審査特別委員会において審査し、委員長報告を経て原案通り可決しました。



楽酪事業・ふるさと基金など

7億円追加

29年度補正予算

●一般会計

歳入歳出の補正予算は7億円を追加し、総額を58億300万円としました。

歳出の主なものは、国の酪農経営体生産性向上緊急対策事業（楽酪事業）の補助採択を受けた事業予算5億7千万円、ふるさと応援基金積立金2億2千万円、町道・公共施設の除雪経費7千万円を追加する一方、各事業執行の確定などに伴い減額するものとなっております。

質疑要旨

バス停を道の駅への検討は

横山

6丁目のバス停に多額の管理経費がかかっているが、新栄通が国道であった時充分機能されていたにしても国道が移っている現在、管理経費を下げるため道の駅とバス停を一緒にする方が考えられるが、それにより起こり得る弊害を検討されたことがあるか。

場の運営について、これまでの実績は右肩下がりであるが、今後について検討したか。

町長

振興局とも打合せをしているところで明るい方向に転換する可能性を検討するが、見通しが立たない場合は廃止という方向に向けていきたいと考えています。

町長

検討は行ったことはありますが結論は出ていませんでした。周辺の事情を考慮しながら検討をしていきます。

条例

(主なもの)

・天塩町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定

産廃処分場の今後について検討は

渡辺

天塩町産業廃棄物処分

平成27年度の介護保険法の改正により平成30年4月1日から居宅

支援事業者の指定権限が市町村に移管することによる条例制定。

・天塩町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

・天塩町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

・天塩町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

・天塩町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

・天塩町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

・天塩町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

・天塩町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

正する条例の一部改正
ダブルルーム新設による利用料を改定。

職員の特種勤務手当支給に関する条例の一部改正案

新たな看護師体制を実施することにもない救急業務待機手当を2千円以内で支給する。

その他

町道路線の廃止及び認定の件

下国根布線及び円山線の起点及び終点の変更。

特別養護老人ホーム、デイサービスセンター及びケアハウスの指定管理者の指定

3施設指定管理者を天塩町社会福祉協議会に指定。期間は平成30年4月1日～平成33年3月31日。

行政報告

3月定例会において町長から行政報告が行われました。

○長瀬副町長が退職

長瀬副町長が平成30年3月31日付けで退職となる事が報告された。

○町立病院で盗難事件

1月9日午後、警察署から町立病院職員の介福福祉士を逮捕したとの報を受け、ただちに被害者家族への謝罪、現場職員、病院職員へ再発防止の指示を行いました。当該職員は1月29日、当該職員は1月29日、窃盗容疑で起訴され、法の判断をもって懲罰審査委員会を開催し厳正且つ適正な処分の検討を行います。

○充実した

地方創生事業

食資源活用プロジェクトでは、新製品開発と販路の拡大により町内事業の売り上げが伸びております。広告費に換算すると7億円以上の効果と試算されるメディアへの露出により天塩町の知名度は大きく高まり、ふるさと納税では今年度約4億円に届く大幅な伸びを見えています。シェアリングエコノミーでは、主婦層を中心とした女性の所得を向上させたほか、ライドシェアによる新しい交通体系を構築し高齢者被褥家族への謝罪、役場職員、病院職員へ再発防止の指示を行いました。当該職員は1月29日、窃盗容疑で起訴され、法の判断をもって懲罰審査委員会を開催し厳正且つ適正な処分の検討を行います。

用したプログラミング教育の充実、スポーツマシンの導入など“未来”へ積極的に投資を行っています。このほか、ソフトバンクが地域の携帯通信網整備に對して、約4億円に上る優先的投資を行っていたり、先々の投資を行っていただくことになるなど、1年余りの期間で携わった取り組みによる町にもたらされた恩恵は、金額換算で約15億円以上にも及びます。



▲未来を感じさせる Pepper

産業厚生 常任委員会

12月22日
町立国保病院の
運営について

【概要説明】

医業収益、医業費用も昨年並みであり、病床減でも必要な入院に対応できている。経費は、来年度は改革プランに少し近づく。常勤医の募集は検討中で、人物重視ではあるが稚拙な動きはしない考え。MRIなどの設備的な改善も考えていきたい。

【委員会の意見】

病院長が考える病院運営の在り方が望ましい。常勤医も必ず2名ではなく、他の病院との連携や民間派遣会社の活用など、試せることを院内で協議してもらいたい。今後継続調査とする。

平成30年度

一般会計 特別会計(8会計)

52億5700万円 22億9331万円

予算等審査 特別委員会

平成30年度の一般会計並びに特別会計8件の予算案合計9件と、議案5件の審査のため、議長を除く8議員で構成される予算等審査特別委員会が設置されました。委員長に横山敦議員、副委員長に遠藤功議員を選出し、3月15日から2日間にわたり審査が行われました。審査終了後、委員長が「若者が夢と希望をもって住み続けられる『天塩の國』創造を成し遂げるよう町政発展を願う」と本会議で結果を報告し、全会一致で全件の予算案及び議案が原案通り可決されました。

委員会中の主な質問

行革推進委員会の役割は

遠藤

会議の回数が減っているが、町財政改革を行うにはこの会議を避けて通れないと思うがどう考えるか。

総務課長補佐

財政健全化を議論する際は委員会からのご意見もいただきたいと考えますので、内部協議を経た資料をもって相談するため予定よりも多く開催することもありえます。

ちよっと暮らし住宅の活用を

遠藤

町外出身者の移住定住を目的としてこの施設の管理経費を計上しているが、今後どのように活用

していくのか。

町長

特に冬の利用がほとんどないことは問題なので、真剣に取り組んで少しでも利用されるようにしていきたいと思っています。



▲住宅外観(12丁目)

車両事故の報告は

石山

町所有車両は公用車のほか道路サービス等に貸し付けているものもあるが、その車両が事故を起こした、起こされたときの議会への報告基準は。

町長

多額の賠償が生じる場合は議会へ報告しております。人命に関わる場合も報告しますが、どの程度で報告するかは多くの自治体の例と比べながらルール化していきたいと思っています。

高校通学支援は継続か

渡辺

通学支援は高校卒業までの3年間続ける必要があると認識しているが、今後学年1クラスになったと仮定したときの基本的な考え方は。

横山

魅力ある高校づくりの動きはなくお金の支援で学年2クラスを維持しているように思えるが、今後高校との協議の進め方は。

町長

天塩高校はこの地域に残さなければという決意を持っており高大连携事業等にも取り組んでいます。教育力を低下させないよう一つ一つ取り組んでいきたいと考えています。

夢と希望がある「天塩の國」創造へ

総額 **75億5031万円** を可決

ふるさと応援寄附金 4億円を見込む

眠れる食資源 の生産体制は

渡辺

天塩國眠れる食資源活用では、販路の拡大を狙ったPR事業を行っているが生産との整合性はとれているのか。

齊藤副町長

有名シェフと協力し天塩の食材を使ったPRイベントを開催する等の事業を積極的に行っています。その成果で需要が増えた分に対応する生産を行えるかは個々の事業者が関知することと考えております。

委託と補助の 使い道は

佐々木

社会福祉協議会は特養ほか3施設の指定管理を受託し委託料を受けているが、ほかに補助金も受けているのはなぜか。

長瀬副町長

補助金は委託事業以外に係る人件費であります。社協が担う事業は補助金、町の受け皿として行う事業は委託料として支出してはいますが、補助金のあり方は今後検討を要するかと考えています。

地域のまつり を盛大に

石山

雄信内地区では少ない補助金の中8月に夏祭り、12月にチャリティーショーを盛大に行っている。しかし市街地区では盆踊りに参加する大人が少ないなど多数の団体があるのに活気がない。もう少し力を入れた方がいいのではないか。

町長

夏まつり等の盛り上がりは雄信内地区の方々の熱意が大変大きく、努力をされた表れだと思っております。町の中心をにぎやかにという点については、楽しい盆踊りに出来ないかという要望もあるので関係者に相談していきたくと考えています。

商工観光課長補佐

事業規模1千万円ほどに対して565万円の補助を行っています。30年度予算でトイレ改修はバーベキューハウス横のトイレのみを考えており、鏡沼全体のものは補助金活用も含めて検討していきます。

長瀬副町長

備蓄品を学校の防災教育や日赤の活動に使うなど無駄が出ないように取り組んでいきたいと考えております。

徴収対策 をもっと

石山

税金の滞納が目立つが、町税の収納対策本部はどのような活動をしているか。住宅料に関する保証人の見直しも進んでいるのか。

長瀬副町長

保証人の見直しはしておりますませんが、対策本部の会議は毎年行っており滞納者には面接や誓約書を交わす等の対策をし、給料や所得税還付金の差し押さえも行ってあります。今後は財産の差し押さえを行うことも考えております。

観光協会の 活動は

谷村

天塩町観光協会はどのくらいの事業費で運営されていて、いくらの補助金がついているのか。また、鏡沼のトイレ改修の内容は。



▲活気ある雄信内夏まつり盆踊り

防災備蓄 の活用は

遠藤

災害用に備蓄した食品の消費期限が迫ったとき、学校給食で再利用するなど無駄にしない使い方を検討しているか。



▲鏡沼のハウス横のトイレ

一般質問

石山直継 議員

就労支援

技能者に対する支援は

町長 介護職員への支援を検討中



度は設けていませんが、人材確保としては、インターンシップや実習生受入れのほか、学校訪問を行っています。

また、介護職員の処遇

① 医療・福祉・建設などの技術者不足に対する人材確保として、町が行っている就労支援とその概要は。

② 厚生労働省の委託事業として建設業では人材育成技術講習があるが、様々な分野の技術職希望者が地元に戻って定職につくための制度や支援の推進ができないか。

町長 ① 保育士の修学支援制

改善については、給料表の見直しや住宅手当の新設、時期は未定ですが奨学金制度の創設を検討しています。

② 苫前・羽幌・初山別・遠別・天塩の5町村と留萌振興局で構成されるオロロン留萌中部・北部通年雇用促進協議会

で季節労働者向け人材育成技能講習を行っています。そのほか留萌地域人材開発センターでは、留萌地域の住民に対して技術講習を行っ

ています。現在、本町単独の支援は行っていませんが、どのようなものが望ましいか広く情報収集を行い判断したいと考えております。



▲人材育成技能講習の様子

石山

① 天塩町医療職員養成修学資金貸付制度があるはずだが、そこに薬剤師が想定されていないのはなぜか。

② 保育士、介護士に対す

る修学資金貸付制度は行わないのか。

③ 国では、建設・土木・運輸・通信と支援を行っているが、天塩町で人材が不足している分野に

対する支援や、退職者の活用は行わないのか。

④ 役場では建設・土木課の技術者がいないが今後どうするのか。

⑤ 新年の挨拶において「次世代を担う子どもたちへの環境基盤づくり」と触れていたが、町政執行方針の中では同様の言葉が入らなかつたのはなぜか。

病院事務長

① 薬剤師取得の在学期間は6年であり、町内の雇用の場も少ないため、薬剤師を含めませんでした。

町長

② 資格を保有することは地元で就業できることにつながることや、資

格がないと就けない職もあるため、必要とされる資格に対する支援を検討していきたいと考えています。

③ 事故等がないように資格を保有していることが大事だと思います

ので、人材が不足している分野を考慮して支援に取り組んでいきます。

④ 土木については資格を持った新入職員が経験を積んでいる最中です。建築については、学校で学んだ職員が居るほか、業務は北海道建設技術センターに委託している部分もあります。

これからの資格を持つ技術者を雇用できるように努力していきます。

⑤ 執行方針全体に考えを含んでいますし、教育行政執行方針のなかでも触れています。

石山

① 一時的な資金がなく進学出来ない人に対し

地元で就業しなかった場合は返納を条件として支援するなどの考えはないか。

② 子どもたちへの環境基盤づくりについては執行方針の中で子どもたちはこうあるべきではないかというしつかりとした明記が欲しかったと思う。

町長

① 必要とされる資格を見直し、十分に配慮していきたいと思えます。

② 思いはあったがはっきり明記してはいないので、今後その趣旨をふまえて取り組んでいきたいと思えます。



▲町立病院 HP より

横山 敦 議員

スキー場どうする

町長 真剣に取り組みたい



と収入を増やすための取り組みの有無及び今後の方針は。

町長

①第6期天塩町総合振興計画を基本とし、アンケートの結果や各委員会での意見などを参考に行いました。

②ふるさと応援寄附条例施行規則に定めた事業の区分に応じて充当事業、2億9474万8千円を繰入金に計上しております。

③出席者から存続を望む声が多く上がっておりましたが、休止と判断したのは財源の目処がなかったものです。最小限での修繕運行の可能性について、現地調査の

横山
①新年度予算は、住民のニーズを捉えた上で効果を検証し、事業評価のもと総合的な判断のうえ編成されたか。
②新年度予算で、ふるさと応援基金を各事業に充当しているが、これら事業を選定した考え方は。
③スキー場休止に伴う住民説明会での住民の意見と、新年度も休止と判断した理由及び今後の方針は。
④産業廃棄物処分場の利用者が増えない理由

実施を考えています。
④公共工事の減少や、受入れに規制が伴うこと、高い処理能力を有していないことなどが要因となっております。町外事業所等からの大規模な搬入元の確保及び受入料金設定の抜本的な見直しを考えております。

①PDCAを用いて、前年踏襲ではなく、成果が出るように町長を筆頭に内部協議されているのか。

横山

②新規事業は、必要性や住民ニーズの把握、合意形成、費用対効果を考慮したか。その中でふるさと応援基金を取り崩して行う事業の選び方はどのようにしたのか。ふ

③スキー場は最小限の修繕運行を模索することだが数年先までの修繕計画をしっかりと立て、継続ないしは廃止の判断は今しかないと考えるかどうか。
④産業廃棄物処分場問題に対する当事者意識の欠如、怠慢だと言わざるを得ません。ここまで対策が遅れた理由は。

るさと応援基金は、財源が無く、住民の希望に沿えない事業に充当していくべきだがどう考えるか。

③スキー場は最小限の修繕運行を模索することだが数年先までの修繕計画をしっかりと立て、継続ないしは廃止の判断は今しかないと考えるかどうか。
④産業廃棄物処分場問題に対する当事者意識の欠如、怠慢だと言わざるを得ません。ここまで対策が遅れた理由は。

①予算編成は非常に厳しく、優先して行われるべき事業の精査をしっかりとやっています。

町長

②ふるさと納税が一般予算に使われている印象を与えています。町の財政が豊かであれば行わなくて済みますので、頼りにできる財源になり感謝の思いでいっぱいです。

③スキー場はできる限り町民の皆さんの期待に応えられるよう真剣に取り組んでいきたい。ふるさと納税を使うことも大事なことだと思いますので努力をしていきたい。
④産業廃棄物の取り組みはもつと積極的にあるべきだったと反省しています。今後、有効に利用されるよう考えていきます。

に拍車をかける悪循環となりますから、すべての事業を精査し、少ない費用で最大の効果を発揮できるよう、地方創生の実現へ向け、全力で取り組んでいきたい。

町長

ふるさと納税の使い道は、十分に精査をして、良い効果に結び付けたいと思います。
交付税の減で財政的に悪化している話は国会議員にしておりますが、自らの努力が必要ですので、最大限の財政調整を行い、地域が生き残っていく未来への夢づくりに向けて総合振興計画をはじめ、しっかりと計画を立てながら、住みやすいまちづくりに努力したいと考えています。

横山

ふるさと納税の本来の目的は、財政上、実現が難しい事業や子供たちへの投資などの事業に継続的に応援してもらうことだと思えます。町の目指す方向性をしっかりと定め、事業の企画立案をし、国や道の補助に注視し自ら取り組む形を定着させる必要があります。

従来からの分配型交付金措置を待っているのは、財政の悪化に伴う人口減

従来からの分配型交付金措置を待っているのは、財政の悪化に伴う人口減

渡辺修勝 議員

地方創生を今後どう生かすのか

町長

結果を検証しひとつでも良い方向に



渡辺

- ① 天塩町地方創生評価委員会の開催状況と評価内容は。
- ② 地方創生推進委員会に議員の意見を求めるのはどうしてか。
- ③ 地方創生と教育を混同していないか。
- ④ 地方創生事業を今後天塩の地域づくりにとり結び付けていくか。

町長

- ① 平成28年度は開催できませんでしたが、平成29年度は3月に開催するよう日程調整を行う

ています。

- ② 推進委員会は幅広い関係者の参画のもと地域社会創生を推進するため、町事情に知見が深い議員の皆さまに依頼しています。
- ③ 将来にわたり「住民が集える住みよいまちづくり」を目指している中に、教育環境整備も含まれております。
- ④ 地方創生戦略は天塩町の多様な資源を用いて重点的横断的に取組みを進めることが重要なことから、新たに作成する次期総合振興計画とともにまちづくりに反映させていきます。

渡辺

- ① 評価委員会の委員は委嘱できているのか。委員の氏名と会長、副会長は誰か。
- ② 内閣府地方創生推進室が求める検証と見直しについてどんな報告を行っているのか。
- ③ 学校教育は一定の継続性、公平性、計画性が求められるが地方創生事業により教育環境が乱されていないか。
- ④ 天塩国眠れる食資源活用プロジェクトでは新製品の開発及び販路の拡大により町内業者の売り上げを伸ばすことに成功としていると聞かすが、総所得の伸びはどうか。
- ⑤ 相乗り事業はドライバーを確保出来ているのか。また参加インセンティブをあげる方策は具体的に何か。

齊藤副町長

- ① 平成27年7月に委嘱しています。任期は平成32年3月末日で、委員長は農協組合長、副委員長は商工会長です。委員は後日書面でお渡しします。
- ② 平成28年度は商品開発、雇用の創出、転入者数などを評価基準として達成していると報告しています。
- ③ 天塩町に住んでいる子どもが天塩町の未来をつくっていくため、教育事業こそが地方創生の根幹です。教育委員会、学校と連携をとりながら新たな事業を進めております。
- ④ 全体の売り上げとしては6千万円ほどです。国の施策も海外輸出に力を入れており、頑張る人を財政的に支援しています。
- ⑤ ドライバー不足は問題点として認識しています。手間を減らすようシステム上の運用を変えて対応しています。

渡辺

- ① 地方創生事業には議員ではなく評価委員の同席を求めるべきではないか。
- ② 推進委員会では町長からどんな諮問を受け、どんな答申をしたのか。
- ③ 5町連合で行うPePePer事業は今後どのように運用するのか。
- ④ 相乗り事業は町外に消費者を運ぶことにより、地元消費が減り病院は更に赤字になると思われるが、町長の見解は。また、ドライバー対策について具体的な検討状況は。
- ⑤ 様々な事業について結果が町民に伝わっていない。結果を今後の天塩町の振興策に生かしていく具体策はあるのか。

齊藤副町長

- ① 評価委員の同席を求めています。
- ② 現在2回開催し、今後答申がつくられる予定です。

- ③ 5町間に進み方の差異があるので、柔軟に対応していきます。
- ④ 事業がなければ住めない方もおり交付金が減るといふ視点も必要であると考えます。ドライバー対策は法律との兼ね合いがあるため、国と協議しています。



▲相乗り事業の様子

町長

- ⑤ 結果の検証をしてみなければならず、新しい総合振興計画の中に載せていけるかも視野に入れながら、全体としていい方向で動ける内容にしていきたい。

冬季の通行止め対策は

町長 万全を期したい



町長

① 3月2日に気象台から発表された暴風雪警報を受け「災害対策本部」を設置し、国道・道路の情報を収集しつつ

ます。道路状況情報は開

発局の「北海道地方道路情報提供システム」を

町ホームページから参照できます。開発局では

その他通行止め情報の

メール配信や道の駅やコンビニでの規制情報

張り出しを行っています

ます。町役場にも関係職員

が待機し、町民等からの

照会に対応しています。

④ 迂回路は国道、道道、

町道の管理者による連携・協議が必要となります

る「留萌地方道路防災

連絡協議会」が設置、開催されています。地域防災計画における道路災害対策としての位置づけをふまえ、

のほかに、緊急時の一時避難場所の確保等協力体制

制に取り組んでいます。

③ 国道の通行止めと解除は

羽幌道路事務所より都度町に連絡があり

ます。

ます。

② 連絡体制は、道路防

災関係42機関で構成される「留萌地方道路防災連絡協議会」が設置、開催されています。地域防災計画における道路災害対策としての位置づけをふまえ、

のほかに、緊急時の一時避難場所の確保等協力体制

制に取り組んでいます。

④ 迂回路は国道、道道、

町道の管理者による連携・協議が必要となります

る「留萌地方道路防災

連絡協議会」が設置、開催されています。地域防災計画における道路災害対策としての位置づけをふまえ、

のほかに、緊急時の一時避難場所の確保等協力体制

制に取り組んでいます。

③ 国道の通行止めと解除は

羽幌道路事務所より都度町に連絡があり

ます。

ます。

② 連絡体制は、道路防

災関係42機関で構成される「留萌地方道路防災連絡協議会」が設置、開催されています。地域防災計画における道路災害対策としての位置づけをふまえ、

のほかに、緊急時の一時避難場所の確保等協力体制

制に取り組んでいます。

④ 迂回路は国道、道道、

町道の管理者による連携・協議が必要となります

る「留萌地方道路防災

連絡協議会」が設置、開催されています。地域防災計画における道路災害対策としての位置づけをふまえ、

のほかに、緊急時の一時避難場所の確保等協力体制

制に取り組んでいます。

③ 国道の通行止めと解除は

羽幌道路事務所より都度町に連絡があり

ます。

ます。

谷村

① 3月2日の暴風雪による通行止め時に町としてどのような対策を講じたか。

② 主要幹線道路である国道の管理者と通行止めの回避方法など連絡協議を行ったのか。

③ 国道通行止めに対し、町として道路状況を把握し、町民に情報提供は十分行っているのか。

④ 通行止め時や災害時に対し、町単独の迂回路等の検討はあるのか。



▲国道 232 号における事故

谷村

① シーズン何回の通行止めがあったか。その

都度対策本部を設置したのか。また連絡体制はどうだったか。

② 通行止めにより緊急

出動・物流・牛乳の出荷などに影響があったか。

③ 対策本部はどの課で

設置されていたのか。また日中は各課に本部の動きは把握されていた

のか。

④ 迂回路は国道、道道、

町道の管理者による連携・協議が必要となります

る「留萌地方道路防災

連絡協議会」が設置、開催されています。地域防災計画における道路災害対策としての位置づけをふまえ、

のほかに、緊急時の一時避難場所の確保等協力体制

制に取り組んでいます。

③ 国道の通行止めと解除は

羽幌道路事務所より都度町に連絡があり

ます。

ます。

② 連絡体制は、道路防

災関係42機関で構成される「留萌地方道路防災連絡協議会」が設置、開催されています。地域防災計画における道路災害対策としての位置づけをふまえ、

谷村

通行止めが起こった

ときに心配していることは牛乳の出荷についてである。

③ 対策本部は住民課に

設置されており、各課に周知しています。

④ 迂回路は国道、道道、

町道の管理者による連携・協議が必要となります

る「留萌地方道路防災

連絡協議会」が設置、開催されています。地域防災計画における道路災害対策としての位置づけをふまえ、

のほかに、緊急時の一時避難場所の確保等協力体制

制に取り組んでいます。

③ 国道の通行止めと解除は

羽幌道路事務所より都度町に連絡があり

ます。

ます。

② 連絡体制は、道路防

災関係42機関で構成される「留萌地方道路防災連絡協議会」が設置、開催されています。地域防災計画における道路災害対策としての位置づけをふまえ、

のほかに、緊急時の一時避難場所の確保等協力体制

制に取り組んでいます。

④ 迂回路は国道、道道、

町道の管理者による連携・協議が必要となります

回です。3月2日と同様の対応をしております。

② 通行止めに関わって

物流支援や緊急車両等の派遣要請や出動はありませんでした。

③ 対策本部は住民課に

設置されており、各課に周知しています。

④ 迂回路は国道、道道、

町道の管理者による連携・協議が必要となります

る「留萌地方道路防災

連絡協議会」が設置、開催されています。地域防災計画における道路災害対策としての位置づけをふまえ、

のほかに、緊急時の一時避難場所の確保等協力体制

制に取り組んでいます。

③ 国道の通行止めと解除は

羽幌道路事務所より都度町に連絡があり

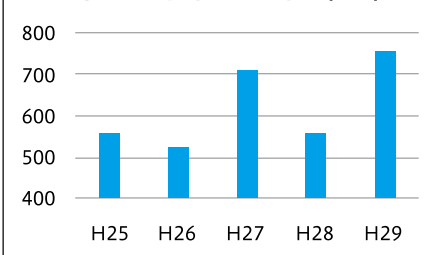
ます。

ます。

② 連絡体制は、道路防

災関係42機関で構成される「留萌地方道路防災連絡協議会」が設置、開催されています。地域防災計画における道路災害対策としての位置づけをふまえ、

年度別降雪量の比較 (cm)



過去の暴風雪時には2次災害の危険がある中、関係機関が連携し人命に至らないで終わったということがありました。今冬も気象庁から発表される情報で非常に危険な状態が予想されたことが数度ありました。人命が第一でありますし、物流が止まることや救急車両が走れないことは非常に大きな課題です。それに対応するために万全を期した体制づくりを関係機関や住民の皆様と協力しながら進めていきたいと思っております。

佐々木裕之 議員

ふるさと納税返礼品は大半が町外か

町長 地場産業振興の成果が上がっていない



佐々木

ふるさと納税返礼品の大半が町外業者ではないか。

町長 30年2月末現在の件数は約1万5千件、約3億9千万円。返礼品経費は1億1570万円。うち町内業者は約510万円です。ふるさと納税ポータルサイトと委託契約し掲載費用はありません。納税者は、サイトから納税し返礼品を選ぶと、サイト側から返礼品事業者へ発

注され、品目に応じた経費を本町が支払うシステムです。

佐々木

齊藤啓輔さんのSNSで一般質問について言葉や語彙を変えたような内容が、まことしやかに流れている。私どもの一般質問を封殺、圧殺する議会軽視であり、対応は議会運営委が議長に届けたい。

昨年12月定例議会で齊藤副町長は「カニ返礼品に関し、天塩で商品開発を一緒にする業者の縁で結び付き、天塩の業者もカニを取扱い地元業者も利益還元されている」、町長も「違法でなく地場産業中心であるべきだが、希望が

あればカニでもいい」と言った。

（株）スプレスという発送会社は北広島市郊外にある着物直しの個人住宅の中にある。ここに1億円超え96%の返礼品を発注した。公金扱いの契約や、どのような業者か・税金完納か・反社会的勢力関係者でない等を調べていない。

地方三団体は返礼品競争の過熱により、地域との関係が薄くネットショッピング化の弊害もあるとしている。今夏までには総務省から方向が出るだろう。

返礼品募集要領を作り町内に事務所を有する等、隣接町と協議し広域的に行う例もある。

佐々木裕之 議員

農業の大規模投資に支援を

町長 即答は難しい。議会とも相談したい

佐々木

雄信内大型法人・更岸TMRセンターなど大規模投資の補助残、自己負担分を支援できないか。資金借入れ利息は、固定資産税はいくらか。昔は企業誘致に支援したが、天塩酪農の未来をつくる事業は、牛舎よりも工場を造るレベルであり上乗せ補助や税の減免などの支援が必要。

町長

近隣市町村が上乗せ支援した例はありません。スーパーL資金償還期間25年据置5年間で金利は年0.3%、残高2億円の場合理息は60万円。建物構築物の固定資産税は、18億円の場合990万円、4億円で220万円、2億円で120万円となります。

農業振興対策室長

上乗せ補助実態は再度確認します。金利は低いので低減の必要性は今後の議論としたい。固定資産税は減免無しで経営が厳しい場合、別の対策支援をしていけばよいのではないかと。

町長

即答は難しい。更岸のTMRセンターについては、町道の道路整備を取り組んでいます。大型法人の関係も含めて今後相談に来られる予定もあり、このうち判断をしていきたい。町財政と見比べ議会とも相談したい。

町長

地場産業振興が第一の願いだが成果が上がらないためこういうような道にも進みました。基本的には地元の返礼品が豊かになってほしいし人気商品が生まれてもらいたい。



▲近隣のTMRセンター

その他「町立病院の今後」の一般質問も行われました。

遠藤功議員

健全な財政運営の取り組みは

町長 計画の見直しに努める



遠藤

- ①平成30年度予算編成では財政調整基金から繰入することになってくるが来年度以降も基金繰入となるのか。
- ②来年度以降も同様に基金繰入を続けると基金がなくなるが、どう対応していくのか。
- ③基金繰入以外の財源不足対策は。

町長

①町税・地方交付税・ふるさと寄附金は増額しているが、普通交付税交付金は減少しています。

健全な財政運営に努めてまいります。

- ②ふるさと応援基金の積立額の増加により基金総額としては増加しております。

長瀬副町長

③歳入の半分以上を占める地方交付税交付額は減少傾向にあるため収支の均衡を図るためによりシビアな財政運営が求められます。

遠藤

①財政調整基金からの繰入に対し、財政状況を点検しながら取り組み努力はどうか。

②積立金の支出はどの事業に繰入しようとしたのか。

③今後の財政運営を明確にできないか。

④ふるさと応援寄附金

を安定財源に位置づけしなかつた理由は。

- ⑤財源確保策は。
- ⑥財政の健全な運営に対する所信は。

町長

①②返礼品はふるさと基金を直接使うことが出来ないため、一般財源から支出しています。一般財源に充てている部分を目的に沿った基金として執行していきたい。

町長

③④⑤⑥ふるさと応援基金が増えたこと助けられながらも、財政計画の見直しを図っていくよう努力してまいります。

遠藤功議員

火葬場の基本計画と相違する理由は

町長 住民の皆様を示していく

遠藤

- ①火葬場を遠別町と共同建設としたメリットは堅持できているか。
- ②建設事業は財源不足を招かない計画により取り組んでいるか。
- ③地域づくり総合交付金等の確保はどうか。
- ④建設計画の全容が示されるのはいつか。
- ⑤当初計画金額と予算計上金額が大きく違う点について住民の合意形成はどうか。
- ⑥天塩町過疎地域自立促進市町村計画の変更はどう進めるか。
- ⑦負担増額による一般財源不足対策はどう進められているのか。

町長

①2町で建設するので半

分の金額です。②北海道と協議のうえ進めています。③全額起債による財源確保が財政運営上最も適したものと考えます。④可能な限り早く示せるよう努力します。⑤広報紙や住民懇談会等で説明申し上げたいと考えています。⑥事業経費の変更はあるものの協議不要とのこと。⑦過疎対策事業債による借入を行います。

町長

①遠別町との協議の中で出来る限りメリットがあるよう努力します。②2町で行うため計画を作成することは難しいが、協議を重ね事業を進めていきます。③変更の説明をしていないことは申し訳ないが、過疎債が最善の方法と考えております。④遠別町と協議を続けま

遠藤

①財政的メリットが堅持できている根拠は。②年次の計画のものとやるべきでは。③全額過疎債とするこ

とにより、他の事業に影響はないか。

④建設計画見直しは検討するのか。⑤事業全体計画の分かりやすい説明をする機会の提供をしないのか。

⑤計画の見通しがついた段階で両町の住民の皆様を示していきます。

表紙の写真

認定こども園おひさま

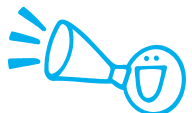
お誕生日のお祝い



4月26日、認定こども園おひさまで、お誕生日のお祝いがありました。園おひさままで、お誕生日のお祝いがありました。園おひさままで、お誕生日のお祝いがありました。

「お誕生日おめでとう！」と元気いっぱいのお祝いを受け、ローソクを吹き消し、あらためて一年をとってお兄ちゃん、お姉ちゃんになったことを喜び合いました。

「好きな食べ物は何？」
「好きな動物は何？」
「好きな人は？」



まちのひろえ

No. 7



天塩で活躍する人たちを紹介するよ！

雄信内ゲートボール振興会の活動は？

会員は25名ほどで夏は憩いの家コート、冬は体育館で毎日のように活動しています。会は平成24年8月に立上げ、練習場所を確保し建設協会や道新から賛助を受け、多くの大会を開催できるまでになりました。

今回は雄信内ゲートボール振興会の皆さんにお話を伺いました！



そのほか、啓徳小や天塩小にゲートボールを教えに行くこともあります。夢は道北地域全体を巻き込んだ選手権大会を開催することで、「ゲートボールといえば雄信内」と言われるように頑張っています。

まちづくりについて感じることは？

憩いの家コートの水はげが悪いと感じます。また、病院に内科専門の先生がいないことは少し不安に感じます。また、地方創生事業でどんなことが行われているか知りたいですし、それら事業が「どう残っていくか」に非常に関心があります。そのほか公共施設の建替が計画的に行われるのが気がなります。

議会や議会だよりの印象は？

議会だよりはよく読んでいます。文字の大きさはこれくらいでも読めるので、写真やイラストを多くしてもらえるとより見やすいですね。皆さん、ありがとうございます。

編集・発行 議会広報特別委員会

- ◎委員長 後藤 忍
- 副委員長 横山 敦
- ☆委員 佐々木 裕之
- 谷村 敏彦

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は 6月21日～22日の予定です。

この議会だよりは、わかりやすく、読みやすい UD FONT by MORISAWA を使用しています。